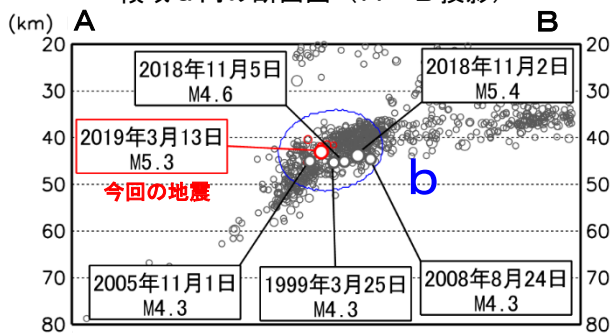
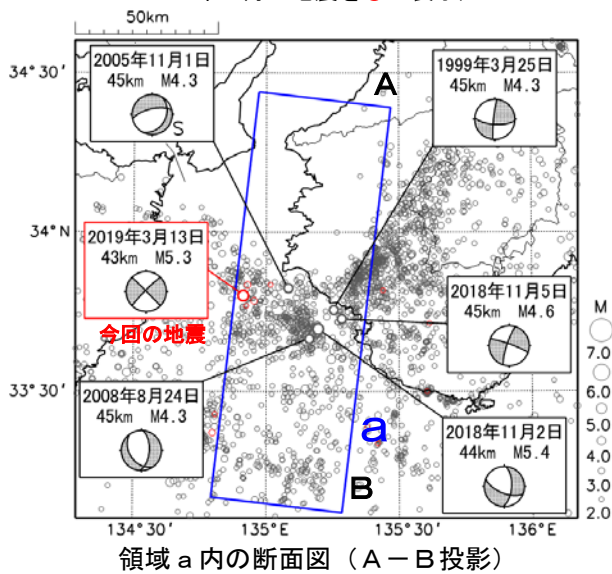


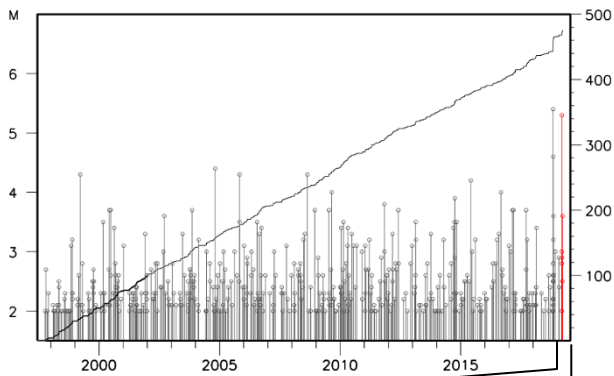
## 3月13日 紀伊水道の地震

### 震央分布図

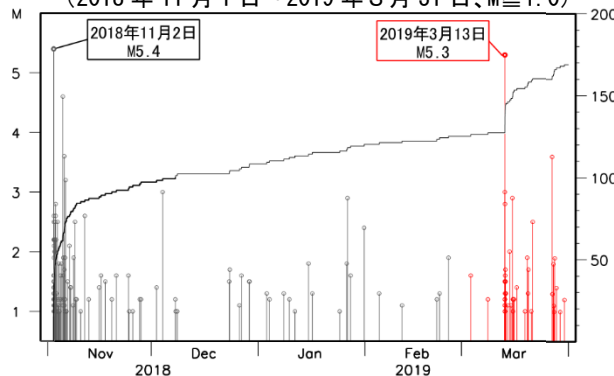
(1997年10月1日～2019年3月31日、  
深さ20～80km、 $M \geq 2.0$   
2019年3月の地震を○で表示)



### 領域b内のM-T図及び回数積算図



(2018年11月1日～2019年3月31日、 $M \geq 1.0$ )



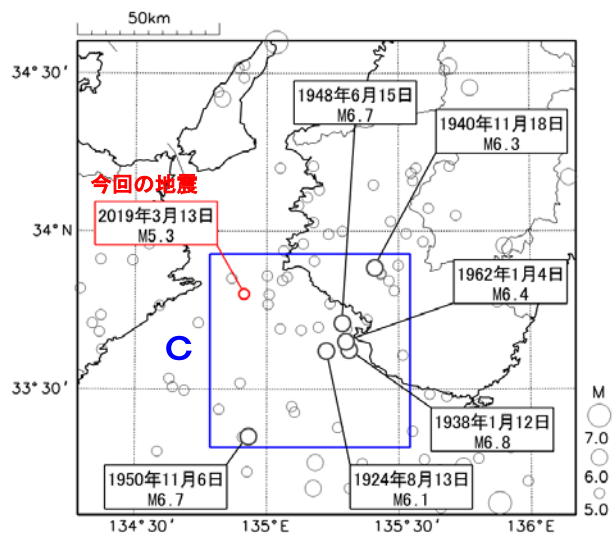
2019年3月13日13時48分に紀伊水道の深さ43kmで $M 5.3$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。今回の地震発生後、震源周辺でややまとまった地震活動がみられた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生しており、2018年11月2日には、 $M 5.4$ の地震（最大震度4）が発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1938年～1962年に $M 6.0$ 以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生した $M 6.7$ の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

### 震央分布図

(1922年1月1日～2019年3月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$   
2019年3月の地震を○で表示)



### 領域c内のM-T図

